

令和6年度学区対抗スポーツ大会開催要項

- 1 主 旨 日頃運動不足がちな婦人の健康、体力の維持、増進を図りながら市民のスポーツへの関心をより一層盛り上げるとともに、参加者の親睦を図る。
- 2 主 催 五所川原市教育委員会 / 五所川原市スポーツ推進委員協議会
- 3 共 催 五所川原市生涯スポーツ推進協議会
- 4 日 時 令和6年9月22日(日) 午前8時30分より開会
「集合時間：午前8時20分まで」
- 5 会 場 五所川原市民体育館
※閉会式は各競技ごとに実施します。
- 6 競技種目 ①ドッチビー
②ソフトバレーボール
- 7 参加資格 就学児の母親(OG(子供が卒業した母親)を含む)を中心にチーム編成を行う。
ただし、監督、コーチやドッチビーの選手はその限りではない。
①ドッチビー
1学区2チーム(選手15名以内)
※小学校の児童も参加できる
※成人は4名(内男性2名、女性2名)参加できる。
②ソフトバレーボール
1学区2チーム(1チーム選手6名)
※OB卒の制限なし。
- 8 申 込 先 五所川原市教育委員会スポーツ振興課
担当 棟方
〒037-8686 五所川原市字布屋町41番地1
FAX: 0173-23-4095
- 9 申込期限 令和6年9月5日(木)まで **締切厳守**(FAX可)

10 競技方法

①ドッチビー

- ・監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手15名以内とし、リーグ戦方式とし、1ゲーム10分の3セットとし、先に2ゲーム先取したチームの勝ちとする。
※選手15名の内訳 選手13名/控え選手2名
- ・ゲーム中の選手交代は基本的に禁止とする。ただし、けがやその他の理由により審判がプレーの続行が不可能と判断した場合は交代出場ができることとする。
- ・セットごとの選手交代は自由とする。
- ・ゲーム開始時、各チームは内野は1名以上、外野は3名（コート縦方向および左右横方向に1名ずつ）を配置する。
※外野選手は試合終了まで最低1名を配置する。
- ・時間内に相手の内野に1人も選手が残っていない状態にするか、またはゲーム時間経過後、より多くの選手が内野に残っているチームを勝者とします。内野に残っている選手の人数が両チーム同数の場合は、引き分けとする。
- ・各セット間のインターバルは2分とする。
- ・リーグ戦での勝ち点は勝ち3、引き分け1、負け0とする。
- ・リーグ戦で同勝ち点の場合は、チーム代表者のジャンケンで勝敗を決する。
- ・その他の競技規定については、一般社団法人日本ドッチビー協会のドッチビールールブックに基づいて行う。

②ソフトバレーボール

- ・監督1名、選手6名とする。競技は4名で行い、予選はリーグ戦方式とする。1セット15点のラリーポイント制で3セットマッチとし、2セットを先取したチームがその試合の勝者となる。デュースの場合は、17点で終了する。
- ・各セットの選手交代は自由とする。
- ・セット毎にコートを交替する。
- ・各セット間のインターバルは2分とする。
- ・リーグ戦での勝ち点は勝ち1、負け0とする。
- ・決勝トーナメントへ進むのは、ブロックのチーム数が3チームの場合の1位、ブロックのチーム数が4チームの場合の1位と2位とする。
- ・リーグ戦で同勝ち点の場合は失点率、総得点、直接対決の結果の順で決定する。
- ・その他の競技規定については、日本ソフトバレーボール連盟のソフトバレーボール競技規則に基づいて行う。

11 表彰 各種目の1、2、3位には賞状、副賞を授与する。
ドッチビー並びにソフトバレーボールは、個人賞として最優秀選手賞（1位チームから）、優秀選手賞（2位チームから）をチーム内で協議して各1名選出し、賞状、副賞を授与する。

- 12 その他
- (1) 監督、コーチ、マネージャーは必ず、監・C・Mのマークをつけること。
 - (2) 競技参加は、1人1種目とする。
 - (3) 参加選手は、スポーツ傷害保険に加入すること。
 - (4) 選手登録をしても、学区内でのチーム（A・B）の移動はできないものとする。
 - (5) 選手は背中に次のとおり表示したものを付けること。

学 区 名
番 号

縦20センチ

横25センチ